

# 祭りで興すまちづくり

## 崇仁まちづくり推進委員会

▶担当 丸山修 ▶電話 090-8381-4641

▶メール maruyama7@mbox.kyoto-inet.or.jp

### 事業目的・背景

崇仁学区は、京都駅と三十三間堂、京都国立博物館等の間に位置し、崇仁のまちづくりの成否が、京都駅東部エリアの活性化にとって大きな影響を与えることは、「京都駅東部エリア活性化将来構想」にも言及されているところです。

開発が遅れてきた崇仁のまちづくり推進にとって「お囃子会」と「船鉾」の復活は、まちづくりの主役である住民の絆を深める役割を担っています。

2023年度に崇仁学区に移転される京都市立芸術大学や京都市立銅駝美術工芸高等学校と連携を図り、文化芸術を核とした崇仁の活力あふれる新たなまちづくりを目指しています。

### 事業概要

夏祭りの実施に向けて京都市立芸術大学の教授・学生に対して、お囃子会で祭り囃子の練習を隔週1回程度の参加を依頼しています。また、今年の夏祭りのポスターは、京都市立芸術大学生デザインによるポスターも作成。会場準備や鉾巡行にも船鉾の引き手として力を発揮してもらっています。巡行には、地元・学生・4学区住民・行政・大学、高校、中学校、小学校、保育所職員等多くの関係機関団体に参加協力をしていただき崇仁の新たなまちづくりを盛り上げていただいています。

### 活動期間

崇仁まちづくり推進委員会は、1996(平成8年)7月1日に発足。この組織は、地元の各団体が参加し、崇仁のまちづくりの窓口を一本化する団

体として発足しました。事務局会議・役員(幹事)会議・委員会のいずれかをほぼ毎週実施し、1997(平成9)年「崇仁まちづくり計画基本構想(案)」を発表し、京都市に提出しました。以来23年間、地元と行政のパートナーシップのもと、まちづくりが続けられています。

### 成果

これまで春祭り夏祭り等地元で行われる行事は、NPO崇仁まちづくりの会が、京都市下京いきいき市民活動センターの指定管理を受けその中核を担ってきました。しかし、本年度指定管理者団体が変わったため同じ業務が展開されず、地元崇仁自治連合会がその主体となって実施することとなりました。その意味で、本サポート事業は大きな支援となったとともに地元住民が主役となって春祭り夏祭りを実施することができました。

### 今後の予定

本年度5月に実施される春祭りに向けて地元各種団体を中心となって計画をする時期となりました。3月から4月にかけて、各種団体長の会議や関係諸機関との連絡・調整をします。お囃子会の子どもの練習も京都市立芸術大学の教授や学生さんたちとはじめていきます。

2023年度の京都市立芸術大学の移転建設に向け、古い改良住宅からの更新棟への引っ越しも順調に進み大学の移転用地を更地にする工事も進んでいきます。船鉾や山車の移転先も決めなければなりません。まちの形は今、大きく変わろうとしています。



船鉾巡行の様子です。崇仁の町内には細い道が多いですが、できるだけ町内の皆さんに船鉾巡行を見ていただくために電線や樹木に気をつけて巡行します。引き手は、小・中学校の児童生徒・保護者、また、小中学校の先生方、京都市立芸術大学の先生や学生さん、行政関係機関の方々のボランティアによって引いていただいています。



崇仁の夏祭り「楽市洛座」は、各種自治団体が出店し、地元のB級グルメをだしています。

また、下京いきいき市民活動センターでサークル活動をする団体、また九条マダンの友情出演等様々なアトラクションがくり広げられます。



楽市洛座が、催される場所は、河原町塩小路を下がった24号線高架で行われる。夏の日差しを受けながらも、たくさんの方が訪れます。熱い思いで暑い中、楽しんでいます。